

基本目標 1 『希望』～子どもを産み育てたいと思えるまちをつくる～

数値目標

指標	基準値 (R2. 3. 31)	目標数値 (R7)	実績 (R6. 3. 31)	R5年度事業評価
年少人口の割合 (0～14歳の人口割合)	11.2%	11%以上を維持	10.6% (0～14歳:6,014人) (人口計:56,758人)	目標未達成 出生数が減少していることから、目標に0.4%届かなかった。 今後についても、下記取組を継続的に実施し、目標達成を目指す。

施策に関する方向性	施策	施策・取組	令和5年度における主な取組内容等	重要業績評価指標 (KPI)					R5年度事業評価 (KPI達成状況、KPIを達成するための今後の取組等)
				基準値	目標値	実績値 (R6. 3. 31)	速報値 (R6. 12. 31)		
安心して妊娠、出産、子育てができる環境の充実	1-1 妊娠・出産支援	安心して妊娠・出産ができる環境を充実させるため、ニーズが高い産科等の誘致を進めるとともに、状況を踏まえた新たな視点での取組を検討する。	産科を誘致するため、HP等で支援内容等を周知。（産科誘致推進事業）	産科開設	0件	1件	0件	0件	KPI未達成 全国的な産科医不足や出生数の減少など、産科を取り巻く環境は非常に厳しいことから、産科の誘致には至っていないが、令和6年に分娩を伴わない産科（本院との提携）も支援できるように制度改正した。
		市内に産科がないことから、妊婦の負担を軽減するため、通院に要する費用の支援等を行う。	妊婦を対象に、通院に要する費用を支援（妊婦健康診査通院支援事業:244件）	出生数	267人	300人	231	158	KPI未達成 出生数は減少しているが、引続き当該事業等を通じて、出生数の下支えをしていく。 なお、令和6年度から新たに不妊治療（先進医療）に係る助成を開始した。
		子どもが欲しいけれどもなかなか授からない夫婦を対象に、不妊治療に要する費用の助成等を行う。	事業終了 (特定不妊治療が医療保険適応となったため)						
	1-2 子育て支援	子育て世代一人ひとりに寄り添いながら各種相談や情報提供を行うとともに、保育の受け皿拡大や保育士確保に向けた就労支援の取組等、安心して子育てができる環境の充実を図る取組を推進する。	約2,200件の妊娠・出産・子育てに関する様々な相談に対応するなど、安心して子育てができる環境づくりを推進。 (子育て世代包括支援センター事業) また、保育人材の確保のため、市内の私立認可保育施設等に保育士等として勤務する方に「きたひろ手当」を支給。（保育士就労促進事業）	保育施設待機児童数 (国基準)	52人	0人	6	0	KPI未達成 左記「きたひろ手当」の支給等により、保育人材を確保しているが、0～2歳児の保育需要の拡大に伴い待機児童が解消できていないため、引き続き推進する。
		ワークライフバランスの実現に向けたセミナー等の実施やテレワーク等の多様な働き方を導入する企業支援等を行う。	ワークライフバランスの実現に向け、ワーク・ライフ・バランスセミナーを実施。（男女共同参画推進事業:1回）	北広島市で子育てしたいと思う割合	95%	95%以上	96.5%	未集計	KPI達成 左記のとおり各種相談や情報提供を継続的に行ってきたこと等を通して、KPIを達成している。 今後も継続したKPI達成に向け、母子保健と児童福祉を一体的に運営する子ども家庭センターを設置する予定としている。
教育環境の充実	1-3 特色のある教育環境の推進	社会科副読本や夢ノート等を活用し、地域に根差した教育やキャリア教育、子どもの夢やチャレンジを応援する取組を進め、まちに愛着や誇りをもち、大志をいだき挑戦できる子を育む。	福祉読本と社会科副読本の改訂や夢ノート使用学年の拡大検討などを通じ、地域に根差した教育やキャリア教育を実施。	将来の夢や目標を持っている児童生徒の割合	80%	90%	82.6%	81.0%	KPI未達成 小学校社会科副読本及び福祉読本については、それぞれ編集委員会を設置し、令和6年度から使用される副読本の利用に向け改定・編集を行った。 経済的に困窮している世帯の中学生が安心して学力や個性、才能を伸ばす機会を提供した。
		置かれている環境により子どもの将来が左右されることがないよう、子どもたちが未来への希望を持ち、自立する力を伸ばすための取組を推進する。	子どもたちが未来への希望を持ち、自立する力を伸ばすための取組を実施。 (R5:266件)						
		プロスポーツチーム等と連携した取組を推進するとともに、小中一貫教育やコミュニティ・スクール等の充実を図り、学校・家庭・地域が連携・協働して子どもたちの学びを支える。	市内小学校へのファイターズ選手の訪問や、アカデミーコーチによる体育の授業を実施した。 乗入れ授業・交流学习等実施や、全国コミュニティ・スクール研究会への参加など、小中一貫教育やコミュニティ・スクールの充実を図った。	市立学校のコミュニティ・スクール 全中学校区導入	全中学校区導入	全中学校区導入済	全中学校区導入済	KPI達成 全中学校区において導入が完了したため、活動の更なる充実、発展に向け、適切な支援を行う。	
	1-4 社会の変化や課題に対応した教育の推進	英語発音力やコミュニケーション能力、国際理解力を高めるため、英語指導助手の活用等により外国語教育の充実を図る。	外国語指導助手7名を計画的に各小中学校の英語授業に派遣するなど、外国語教育の充実を図った。（外国語指導助手活用事業）	OEFR（セファール）A1レベル相当以上の英語力を有すると思われる市立中学校3年生の割合	40.1%	50%	60.9%	64.2%	KPI達成 外国語教育の充実を図ったことなどから、KPIを達成。 今後についても、引続き、外国語指導助手の活用等による外国語教育の充実を図る。
学校ICT機器や環境を整備し、学びの質の向上や校務の効率化を進める。		小学校校務用PC170台の更新、GIGAスクール運営支援センター（A1デスク）の整備を実施するなど、学びの質の向上や校務の効率化を推進。（学校ICT環境整備事業）							

基本目標2

『交流』～北広島市への新しい人の流れをつくる～

数値目標

指標	基準値	目標数値 (R7)	実績 (R5年度)	R5年度事業評価
社会動態	22人 (H27～R1の転出入者の差の年平均)	基準値以上	87人 (転入:2,293人、転出:2,206人)	目標達成。 平成28年度から継続的に社会増に転じており、目標を大幅に上回っている状況。

施策に関する方向性	施策	施策・取組	令和5年度における主な取組内容等	重要業績評価指標 (KPI)					R5年度事業評価 (KPI達成状況、KPIを達成するための今後の取組等)	
				基準値	目標値	実績値 (R6.3.31)	速報値 (R6.12.31)			
11	移住・定住促進	2-1 移住・定住促進に向けた支援	移住・定住者数を増やすためには、居住物件（土地・建物）や就業場所の確保、公共交通の充実による通勤・通学などの利便性向上が重要となることから、雇用創出や公共交通の取組と併せて、空き地・空き家等の有効活用されていない土地や建物の流動化の促進等を推進する。	事業者との協定締結による啓発冊子の発行や空き家の見回りサービスの紹介を行うことにより、空き家対策の強化を行い、空き家流動化に繋げている。	空き家戸数	315件	315件より減少	約400件 (見込み)	集計中	KPI未達成 更なる空き家の発掘から供給までのプラットフォームの構築や相談会の開催、住まいに関する総合的な相談窓口や空き家所有者向けの相談窓口を設置することにより、空き家流動化に繋げている。
			移住定住の促進に向け、UIJターンへの移住支援や移住相談会等の実施のほか、移住に係る情報発信を行う。	東京での移住フェアへの参加や、UIJターンへの移住支援 (R5:1件、R6:5件) などを通じ、移住定住の促進を図った。	移住相談会での相談件数	42件	200件 (累計)	36件 (累計)	R5:36件 R6:43件 (R7.2.15) 累計79件	KPI未達成 移住相談会に現地参加し、Fビレッジの効果もあり、相談者の注目度が高かった。 また、市役所窓口への移住相談も増加傾向にあるため、住宅施策と連携した取組を推進していく。
13	14	2-2 地域の特色を生かした観光推進	市民や観光関係団体、商業事業者や近隣市町村等との広域的な連携を図り、イベントの開催、観光PR、webサイト・パンフレット等による情報発信等を行う。	ツール・ド・キタヒロの実施(83名参加)のほか、サイクル冊子への記事掲載やサイクルスタンドの設置等を行った。 また、北広島市の近隣の7市町を自転車で巡るライドアラウンドを実施した。(401名参加)	観光入込客数	123万人	270万人	464万人	474万人	KPI達成 北海道ポールパークFビレッジの開業により、観光入込客数が大幅に増加している。健康志向の高まりにより、サイクルツーリズムの機運は高まっている。
			エルフィンロード等の地域資源を活用したツーリズムやイベントを実施するほか、旧島松駅通所の整備や観光案内所など受入環境等の整備を進める。	きたひろしま30kmロードレースをFビレッジハーフマラソンに改め、実施4,139人の参加 旧島松駅通所については、主屋耐震補強・保存修理工事にに向けた基本設計を策定した。						
15	16	2-3 関係人口の創出・拡大	ふるさと納税の返礼品を通して、全国へまちの魅力を発信し、ポールパーク等の新たな資源を生かした体験型返礼品の充実を図る。	ふるさと納税の返礼品を通して、全国へまちの魅力を発信 (R4→申込:14,087件、寄附額:325,302千円) 令和5年11月から日本ハムファイターズに関連する返礼品をとり扱う「ファイターズふるさと納税」を開始した。	ふるさと納税の寄附件数	7,015件	150,000件 (累計)	R3:14,053件 R4:16,682件 R5:14,087件 累計:44,822件	R3:14,053件 R4:16,682件 R5:14,087件 R6.12:19,046件 累計:63,868件	KPI未達成 返礼品の充実を図ったことなどから、件数、金額ともに増加。 令和5年11月から開始した「ファイターズふるさと納税」は開始1年で寄附額の累計が1億円を突破し、今後も増加が見込まれている。
			企業版ふるさと納税をきっかけとした企業との繋がりを大切にし、民間企業のノウハウを生かした地域課題解決の取組を検討する。	シティセールスやFビレッジによる市の知名度向上等などを通じて、企業版ふるさと納税による寄附があった。 (R5:187,930千円)	企業版ふるさと納税の寄附件数	1件	30件 (累計)	R3:11件 R4:12件 R5:23件 累計:46件	R3:11件 R4:12件 R5:23件 R6.12:30件 累計:76件	KPI達成 Fビレッジに係るJR新駅建設を含むポールパーク構想を応援していただける企業の増加により、企業版ふるさと納税の件数が増加している。 今後についても、情報発信や民間企業のマッチング支援サービス等を通じて、より多くの企業が企業版ふるさと納税を活用するよう働きかける。
			東京北広島会の活動を推進し、市内に居住していなくてもまちづくりの担い手となる人材の確保を図る。	令和5年度は、エスコンフィールドでの試合観戦を含む現地交流会を開催計5回実施し、市内に居住していなくてもまちづくりの担い手となる人材の確保を図った。	東京北広島会会員と連携した取組の実施件数	-	5件 (累計)	R3:2件 R4:2件 R5:5件 累計:9件	R3:2件 R4:2件 R5:5件 R6.12:2件 累計:11件	KPI達成 会員の専門知識等を市行政へ活かすことなどを目的に、市の状況報告や意見交換等を実施する交流会を積極的に実施した。 令和5年度には、ふるさと納税返礼品の現地試食会を会員と実施し、特産品のPRを実施した。 今後についても幅広い人脈やネットワークを活用した取組を検討、実施する。
18	19	2-4 シティセールスの推進	関係団体等との連携を図るとともに、ラジオ、webサイト、SNS等を活用し、国内外に向けたシティセールスを推進する。	NPO法人との連携を図り動画作成等を実施し、SNSでの発信を強化するなど、国内外に向けたシティセールスを推進した。	本市を応援している人数	8,994人	45,000人	25,590人	31,784人	KPI未達成 きつねダンス動画やジンギスカンダンス動画により、SNSフォロワー数の増加に繋がっている。 今後についても、Fビレッジ効果を生かし、SNSの発信強化等に積極的に取組むなど、KPI達成に向けた取組を実施する。
			本市が持つ地域資源や特徴、ポールパーク構想がもたらす価値や魅力などを生かしたまちのPRを推進する。	ジンギスカンダンス動画を制作したほか、動画の作り方教室を実施し、新たな資源を生かしたPRを推進した。						

基本目標 3

『成長』～持続可能で住みやすい魅力的なまちをつくる～

数値目標

指標	基準値	目標数値 (R7)	実績 (R5年度)	R5年度事業評価
北広島市を住みよいく感じる市民満足度	75.4%	80%	未集計	R6調査の結果、市民満足度は73%でした (速報値)

ア	イ	ウ	エ	オ	カ	キ	ク	ケ	コ	
										施策に関する方向性
20	3-1 駅及び駅周辺の 魅力向上	JR北広島駅とJR新駅及び、その周辺の環境整備を進めるとともに、駅西口周辺エリア活性化計画に基づき、未利用市有地等の一体的な土地利用について、官民協働で取組を進める。	令和5年度は、北広公園のリニューアルに向けたワークショップを開催した。(駅西口周辺エリア活性化事業) JR新駅については、調査設計を実施した。(JR新駅整備推進事業)	都市機能誘導区域における誘導施設の開設数	-	1件以上	0件	0件	KPI未達成 B敷地については、工事が開始された。分譲マンション、都市機能誘導施設である認可保育所、生活利便機能等を複合した居住交流施設を整備することとしており、入居する認可保育所運営事業者を決定した。令和8年度に完成する予定としている。 北広公園については、基礎設計が上がってきたことから令和6年8月に市民説明会を実施し、リニューアル案について説明した。また、10月には北広公園のあゆみや今後の整備内容についてオープンハウス形式にて説明した。今後、実施設計を進めていく。	
21		駅周辺を魅力あるエリアとして育み、継続的かつ恒常的なにぎわいのある地域づくりを行うため、官民連携のエリアマネジメントについて検討する。	エリアマネジメント組織の体制づくりのためプレイベントとなるPOP UP!KITAHIROを開催した。(R5. 9. 17: 約500人来場、R5. 10. 27: 約1,200人来場)							
22	魅力あるまちづくり	3-2 ボールパーク構 想とスポーツに よるまちづくり の推進	ボールパーク構想を推進するため、近隣市町村等との広域的な連携や官民連携によるイベントの開催、情報発信等を行うとともに、市道や公園、周辺環境を整備する。	市民応援事業や市民説明会、学校教育をはじめとした各分野での連携事業を実施した。また、広域連携市町村での連携事業を実施した。 また、Fビレッジ周辺の道路や公園の工事も実施した。	ボールパーク関連イベントの参加者数	-	1万人 (累計)	R3: 5,224人 R4: 10,292人 R5: 21,512人 累計: 37,028人	R3: 5,224人 R4: 10,292人 R5: 21,512人 R6. 12. 14,440人 累計: 51,468人	KPI達成 Fビレッジ開業年において、試合観戦など多くの市民の方がFビレッジへ足を運ぶ機会を作ることができた。 また、選手等の小学校訪問により、子供たちがプロスポーツ選手と関わる機会を作ることができた。
23			子どもから高齢者までスポーツ・レクリエーション活動に親しむ機会の提供を通し、スポーツによる地域コミュニティの活性化に努めるとともに、競技スポーツの支援、指導者養成等を行う。	ウォーキングイベントやオンラインセミナー等、スポーツ・レクリエーション活動に親しむ機会を提供し、地域コミュニティの活性化を図った。	「スポーツ・レクリエーション活動に親しむ機会や環境の充実」の満足度	68.8%	70%	未集計	71.8%	KPI達成 令和6年度に実施した市民意識調査の結果、71.8%の市民が満足している結果となった。(速報値)
24	持続可能で住みやすい まちづくり	3-3 持続可能なまち づくりの推進	土地利用の見直しをはじめ、北広島団地地区の容積率の緩和等を進め、子育て世代の多世代住宅利用の促進を図るとともに、子育て世代に広い住生活空間を提供し、高齢者に利便性の高い住宅への住み替えを支援する。	子育て世代の多世代住宅利用の促進を図るため、北広島団地地区の容積率の緩和を検討。(市街地整備計画事業) また、高齢者の住み替え支援のため、セミナーを3回開催。(住み替え支援事業)	住み替え支援制度利用者数	-	750人 (累計)	R3: 41人 R4: 128人 R5: 41人 累計: 210人	R3: 41人 R4: 128人 R5: 41人 R6. 12. 27人 累計: 237人	KPI未達成 セミナーへの参加者自体は、増加しているところ。また、市への相談については、市内不動産事業者をはじめとした各事業者との連携により、空き家の売却につながり、新たな定住者が生まれるなど、流動化に繋がっている。
25			バリアフリー法に基づき、公共施設や道路等の一体的なバリアフリー化に向けた取組を推進する。	バリアフリー法に基づく、JR北広島駅のバリアフリー工事が完了し、エレベーターを使ってJRホームに降乗する方に係る自動改札機の設置等、利便性が向上した。(令和4年度完了済み)	移動円滑化促進方針等の策定	-	方針等の策定	未策定	未策定	KPI未達成 引き続き、策定に向けて調査研究していく。
26			共通する行政課題に対応するため、他市町村との広域的な連携・取組を進めるほか、市民サービスの向上を目的とした行政手続きのオンライン化等を推進する。	さっぽろ連携中枢都市圏により、広域の公共交通計画を策定したほか、各種広域連携事業についての検討を実施した。	-	-	-	-	-	令和7年10月から消防指令業務の共同運用を開始する予定である。札幌圏の6消防本部(札幌市、江別市、千歳市、恵庭市、石狩北部、北広島市)の119番通報を札幌市消防局内に新たに設置する札幌圏消防指令センターに集約することで、市民サービスの向上と行財政上の効率化を実施する。
27	3-4 利便性の高い公 共交通の推進	公共交通の利用促進に向けたモビリティ・マネジメント等、日常生活における足の確保に向けた取組を推進する。	広報誌等による利用促進や運転免許証の自主返納者に対するバス助成券の支援など、日常生活における足の確保に向けた取組を推進。また、令和5年4月1日からのさんぼまち・東部線の路線再編に向けた取組を実施した。(公共交通網形成計画推進事業)	市内線のバス利用者数	510.5千人	511千人	412千人	210千人 (R6. 4~9)	KPI未達成 さんぼまち・東部線の路線再編後の利用状況について協議会で共有した。ボールパーク開業の影響もあり、利用数が微増している。乗務員不足が深刻な問題と言われており、引き続き、持続可能な公共交通の在り方を検討していく。	
28		ボールパークへのアクセス輸送やMaas (マース) 等の先端技術を用いた新たな交通サービスについての検討を進める。	さんぼまち・東部線の路線再編の際に、オンデマンド交通等の試算等を実施したところであるが、持続可能性や既存の公共交通との棲み分け等の課題があることから、導入には至っていないところ。	利便性の高い公共交通の充実の満足度	47.7%	70%	未集計	50.60%	KPI未達成 乗務員不足によるバス路線の減便が深刻な社会課題である中で、持続可能な公共交通を構築していくために、引き続き、実施事業者との協議を行うとともに、北広島市公共交通活性化協議会において議論していく。	

基本目標 4

『挑戦』～創業と雇用を促進し、安心して働けるまちをつくる～

数値目標

指標	基準値	目標数値 (R7)	実績 (R5年度)	R5年度事業評価
市の産業・雇用の市民満足度	58.8%	70%	未集計	R6調査の結果、市民満足度は58.9%でした (速報値)

ア	イ	ウ	エ	オ	カ	キ	ク	ケ	コ		
										施策に関する方向性	施策
29	創業支援	4-1 新たな事業の創出・挑戦への支援	商工会等の関係機関と連携した創業支援体制により、創業希望者・創業者・支援機関の交流の機会を創出する創業フォーラムの開催やワンストップ相談窓口を設置し、創業促進を図る。	ワンストップ創業相談窓口の設置を実施。(創業促進支援事業)	創業支援制度利用者の創業件数	-	25件 (累計)	R3:3件	R3:3件	R6:事業終了 累計:4件	KPI未達成 本事業で実施している「コミュニティビジネス創業支援補助金」については、平成20年度から事業を開始し、地域の活性化及び地域課題の解決を図ってきたが、ポールパーク開業の効果により、市の補助が無くとも活発に創業される状況となったため、令和5年度をもって終了することとした。
			コミュニティビジネスの創業に対し、アドバイザーの設置による相談体制の充実を図るとともに、創業時の一時的な経費負担を支援する。	個別相談などコミュニティビジネス創業アドバイザーによる相談体制の充実を図った。(創業促進支援事業)							
			農泊や農家レストランの経営、農産物直売所など販売の多角化、6次産業化による農産物の高付加価値化の取組等を支援し、新たな事業や地場産品の創出を支援する。	セミナーや、6次産業化等推進協議会の開催を通じて、農産物の高付加価値化の取組等を支援するとともに、商品開発等に係る支援を行うことにより、新たな事業や地場産品の創出を支援。(六次産業化等支援事業)							
31	創業支援	4-1 新たな事業の創出・挑戦への支援	農泊や農家レストランの経営、農産物直売所など販売の多角化、6次産業化による農産物の高付加価値化の取組等を支援し、新たな事業や地場産品の創出を支援する。	セミナーや、6次産業化等推進協議会の開催を通じて、農産物の高付加価値化の取組等を支援するとともに、商品開発等に係る支援を行うことにより、新たな事業や地場産品の創出を支援。(六次産業化等支援事業)	6次産業化等に取り組む農業者	-	3事業者 (累計)	R3:1件	R3:1件	R6:事業終了 累計:3件	KPI達成 6次産業化等に関するセミナーを通じて、農業者への発信力を向上することにより、KPIを達成した。一定程度効果があったことから令和5年度で補助を終了とした。
								新商品開発等	-		
32	雇用と就業環境の充実	4-2 雇用と就業環境の充実	ワーク・ライフ・バランスの実現に向けたセミナー等の実施やテレワーク等 多様な働き方を導入する企業支援等を行う。	ワーク・ライフ・バランスの実現に向け、セミナー (1回) を実施。	ワーク・ライフ・バランス推進支援企業数	-	5件 (累計)	0件	0件	KPI未達成 ワーク・ライフ・バランスの推進に興味を示す企業もあったが、支援には至らなかった。今後についても、ワーク・ライフ・バランスセミナー等を通して、継続して取組を行う。(令和6年度で事業終了予定)	
			若年層の離職状況を把握し、離職防止に向けた取組や外国人労働者の就業状況等の把握を図り、就業環境の整備等に関する支援についても検討する。	市内企業向けに外国人雇用セミナー・相談会を実施したほか、日本語教室、多文化共生まちづくりワークショップ、防災講習会を開催し、外国人雇用機会の創出や労働者のコミュニケーション支援や生活支援を行った。(多文化共生推進事業)	安定した雇用の場の確保の満足度	52.3%	70%	未集計	57.2%	KPI未達成 ポールパークの開業により、雇用の場が創出されたことから約5%満足度が向上したが、札幌市等の市外で働いている市民が多いことから、目標値には届いていない状況となっている。 R7.3.15にはトナリエ北広島が開業したことから、更なる満足度の向上が見込まれる。	
33	雇用と就業環境の充実	4-2 雇用と就業環境の充実	若年層の離職状況を把握し、離職防止に向けた取組や外国人労働者の就業状況等の把握を図り、就業環境の整備等に関する支援についても検討する。	市内企業向けに外国人雇用セミナー・相談会を実施したほか、日本語教室、多文化共生まちづくりワークショップ、防災講習会を開催し、外国人雇用機会の創出や労働者のコミュニケーション支援や生活支援を行った。(多文化共生推進事業)	安定した雇用の場の確保の満足度	52.3%	70%	未集計	57.2%	KPI未達成 ポールパークの開業により、雇用の場が創出されたことから約5%満足度が向上したが、札幌市等の市外で働いている市民が多いことから、目標値には届いていない状況となっている。 R7.3.15にはトナリエ北広島が開業したことから、更なる満足度の向上が見込まれる。	
34	雇用と就業環境の充実	4-2 雇用と就業環境の充実	事業承継に係る市内事業者の実態を把握するとともに、相談窓口や専門家派遣の活用による事業承継により雇用継続が図られるよう支援する。	労働事情調査の中で事業承継に係る実態把握を行ったが、約半数が事業承継の意向がなく、意向がある方でも親族への継承が多い状況。北海道事業承継・引継ぎ支援センターを案内している。	安定した雇用の場の確保の満足度	52.3%	70%	未集計	57.2%	KPI未達成 ポールパークの開業により、雇用の場が創出されたことから約5%満足度が向上したが、札幌市等の市外で働いている市民が多いことから、目標値には届いていない状況となっている。 R7.3.15にはトナリエ北広島が開業したことから、更なる満足度の向上が見込まれる。	
35	人材確保	4-3 人材確保・定着への支援	介護施設・障がい福祉施設・保育所等の人材確保に向け、就職支援や離職防止、就労継続に向けた支援を行う。	就労支援金助成を通して、新規就労者に対する就職支援を実施。	就業支援制度利用者による就労者数	-	400人 (累計)	R3:84人 R4:74人 R5:73人 累計:231人	R3:84人 R4:74人 R5:73人 累計:314人	KPI未達成 就労支援金助成により市内介護事業所等への就労に一定の効果があった。市内介護サービス事業者等では、昨今の担い手不足から、人材の確保は難しい状況となってきた。このことから、より効果的な人材の確保策を検討していく必要があるものと考えている。	